

# 町民が心を豊かにできる 学びと生涯学習の環境を

新型コロナウイルス感染症が、世界中で猛威を振るい始めてから2年余りとなりました。わが国では、昨年の春からワクチン接種が始まり、夏には感染防止対策に万全を期した中で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、札幌市で行われたマラソンなど、私たちに多くの感動を与えてくれました。

町内の教育現場では、運動会の規模縮小や修学旅行の日程変更などの影響はありましたが、徹底した感染予防対策を取り、概ね予定通りに学校活動を送ることができました。

本年度におきましても、GIGAスクール構想で導入された1人1



令和4年度教育行政方針  
教育長 岩原 勝行



総合教育会議ではさまざまな意見が

- ▼「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習指導の推進。
- ▼全国学力・学習状況調査、弟子屈町学力調査などによる子どもたちの学習状況の把握と、授業の改善。
- ▼学校図書館の充実やICTを活用した学習活動の推進。
- ▼外国語指導助手2人の派遣継続と、外国語教育の充実に向けた取り組みの推進。
- ▼弟子屈小学校・弟子屈中学校における加配教員によるきめ細やかで丁寧な指導の実施。
- ▼「学習習慣」と「生活習慣」の課題改善に向け、学校と家庭・関係機関との連携を強化。

### ③ 「豊かな心」を育む教育活動の充実

- ▼道徳教育の充実を図り、子どもたちの「豊かな心」の育成を推進。
- ▼弟子屈町いじめ防止基本方針に基づき、いじめ撲滅に向けた取組を推進。
- ▼スクールカウンセラーとの相談・支援による悩みや苦しみへの対応。
- ▼姉妹都市 鹿児島県 日置市との中学生交流訪問事業を実施。



弟子屈高校生徒の職業体験で講場を見学

### ④ 社会の変化に対応する教育の推進

- ▼各学校での特色ある取り組みへの支援。
- ▼地域人材を活用する「ふるさと学習」の推進。
- ▼企業見学・職業体験活動・インターシップを中核とした「キャリア教育」の充実。
- ▼玉川大学の協力による、イングリッシュ・キャンプの実施。
- ▼学校教員の「働き方改革」による時間外勤務の縮減。

### ⑤ 特別支援教育の充実

- ▼個別の指導計画や支援計画に基づき、特別支援教育コーディネー

台のタブレットを活用した学習活動や、今後本格導入されるデジタル教科書など、「教育のデジタル化」へしっかりと対応してまいります。

コロナ禍で先行きが見通せない状況ですが、本町教育の目指す姿「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」という基本理念のもと、子どもたちの学びの環境をしっかりと保障し、全ての町民が心を豊かにできる生涯学習の環境づくりを推進してまいります。

### 弟子屈町教育の計画的な振興

▼第6次弟子屈町総合計画で示された、「豊かな心を育て、文化を大切に」する夢づくり」を基本目標と

- ▼ターを中心とした校内委員会の定期的な開催。
- ▼北海道立特別支援学校による「パートナーティーチャー派遣制度」などを活用した担当教員への支援を継続。
- ▼弟子屈町子ども発達支援センターなどの関係機関との連携強化。
- ▼特別支援教育支援員の増員による、支援体制の充実。

### ⑥ 健康や安全に関する指導の充実

- ▼新型コロナウイルス感染症対策下での学びの保障。
- ▼「新体力テスト」の実施と、「体力づくりのための1校1実践」の推進。
- ▼小中高校生を対象とした命の大切さを学ぶ思春期講座の実施。
- ▼学校危機管理マニュアルの見直しと「防災教室」「1日防災学校」などによる防災訓練の実施。
- ▼「子どもサポーター隊」「子ども110番の家」「交通指導員」などとの協力による、地域全体で子どもを見守る活動の推進。

### ⑦ 教員の資質向上

- ▼町教育研究所などにおける研修事業への参加の促進。
- ▼「教育のICT化」に対応した研修や町内小・中学校の自主公開研究会などの開催。

- ▼し、学校・家庭・地域の連携を強化。
- ▼「第2次弟子屈町教育大綱兼第2次弟子屈町教育推進基本計画」に基づく各種事務事業の着実な推進と点検・評価。
- ▼教育委員コラムや発行や教育日誌など、ホームページを活用した情報発信。
- ▼学校事業・社会教育事業の参観を通し、町民との対話を深めて、諸課題を解決。

### 学校教育の充実

- ▼「令和の日本型学校教育」の構築と新学習指導要領の着実な実施。
- ▼ICT活用との最適な組み合わせによる教育の実践と、釧路管内の重点項目の推進。

### ① 信頼される学校づくりの推進

- ▼教育活動の成果をホームページや学校便りなどによる情報発信を促進。
- ▼コミュニケーション・スクールと弟子屈町地域学校協働本部との連携を促進。

### ② 学習指導の充実

- ▼全ての子どもの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実。



タブレット端末を使った授業

### ⑧ 就学児童生徒保護者への支援

- ▼玉川大学との連携による教員の英語指導力向上研修の継続。
- ▼オンライン学習通信費など就学援助の実施。
- ▼デジタル教育時代に誰ひとり取り残されることのない支援の実施。
- ▼全ての児童生徒に対する、学校給食の無償提供の継続。
- ▼学用品費の保護者負担軽減や、学校災害給付金掛金の全額公費負担の継続実施。



## ⑨ 幼児教育の充実

- ▼ 小学校生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実させ、幼児教育と小学校教育との円滑な接続と連携を推進。
- ▼ 認定こども園ましゅうへの外国語指導助手の派遣や、入学前の就学指導など、関係機関との連携を継続。

## ⑪ 小中高等学校連携の促進

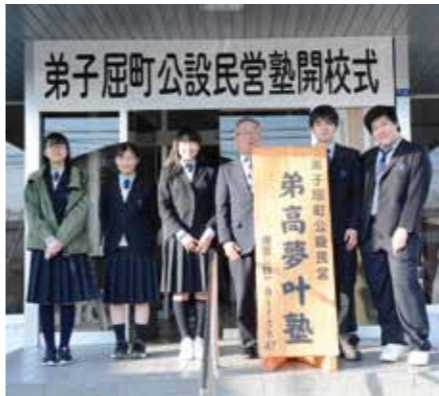
- ▼ 「総合的な学習の時間」などで扱う学習内容を小中高等学校が連携して実施することへの支援。
- ▼ 英語教育の体系化に向けた小中高等学校教員間の連携の推進。
- ▼ 支援が必要な子どもたちの適切な対応に向けた、幼保小中高の連携を推進。

## 社会教育活動の推進

- ▼ 新型コロナウイルス感染症の影響によりさまざまな行動制限を余儀なくされている中、第8次弟子屈町社会教育中期計画に基づき、町民が相互の関わりの中で主体的に多種多様な学習活動のできる環境づくりに取り組みます。

## ⑩ 高等学校教育支援などの充実

- ▼ 進学や就職を目指す生徒を対象とした「公営塾」の通年開設の継続。
- ▼ 新学習指導要領に対応するため、生徒1人1台のタブレット導入への支援。
- ▼ 姉妹都市・鹿児島県日置市への修学旅行費用の助成。
- ▼ 「弟子屈探究」などふるさと学習への支援の継続。



公営塾「弟高夢叶塾」を通年開設

## ⑫ 教育環境の整備・充実

- ▼ デジタル教科書導入も見据え、ICT環境だけでなく、教員のスキルアップやサポート体制など、ソフト面でも一層の充実を推進。
- ▼ 美留和小学校体育館屋根の補修の実施。
- ▼ 教材や学校図書などの整備を進め、ウィズコロナやデジタル化に的確に対応。

## ① 生涯学習事業の充実と社会教育の振興

- ▼ 多様な世代に多彩で豊かな学びの機会を提供し、成果を自らの日常生活や地域課題解決のための活動に繋げることでさらに学びを深める「学びと活動の循環」を推進。
- ▼ SDGsの視点を取り入れた「循環型生涯学習社会」の推進。
- ▼ 野外体験事業や「少年の主張」を継続。
- ▼ 地域と学校が連携して「学校を核とした地域づくり」を推進する「地域学校協働活動」を推進。
- ▼ 弟子屈高校による「地域貢献活動」への支援。
- ▼ 「生きがい講座」の活動を通して、学びの場の提供と交流を促進し、高齢者の充実した生活を支援。



## ② 公民館、図書館活動の充実

- ▼ 「硫黄山トレッキングツアー」など、関係機関、団体との連携し事業を実施。
- ▼ 若い世代も参加できる事業など、幅広い学習プログラムを実施。
- ▼ 「公民館ミニコンサート」や「公民館ロビー展」など、活動の成果を発表する機会の提供。
- ▼ 図書館の蔵書の充実と、インターネットなど各種サービスの推進。
- ▼ ボランティアとの協働による図書館活用、「第3次弟子屈町子ども読書活動推進計画」の着実な実行など、読書習慣の定着に向けた取り組みを推進。



公民館ロビーでさまざまな展示を



郷土芸能の保存活動に支援

## ③ 芸術文化活動への支援と振興

- ▼ 弟子屈町総合文化祭の春秋開催。
- ▼ 芸術鑑賞バス運行事業による芸術文化を体験できる機会の提供の拡大や児童生徒を対象とした芸術鑑賞事業の開催。
- ▼ 文化振興助成制度による全道・全国大会への参加支援の継続。
- ▼ 郷土芸能である鑑別・仁多の獅子舞や川湯ばやしの保存活動に対する支援。

## ④ 文化財保護などの活動推進

- ▼ 玉川大学の協力による町指定天然記念物である屈斜路湖「マリゴケ」の植生調査の継続。
- ▼ 屈斜路コタンアイヌ民族資料館改修事業の詳細設計に向けた準備。

## ⑤ スポーツ活動の推進

- ▼ 弟子屈町スポーツ協会、スポーツ少年団各団体などへの支援。
- ▼ 各種スポーツ教室や、学校施設開放事業によるスポーツに親しむ機会の充実。
- ▼ アイヌ民族資料館の開館40周年に係る各種記念事業の実施。
- ▼ 弟子屈町郷土資料館「蔵」に残る資料の移設を実施。
- ▼ 郷土資料に関する専門職員の配置を検討し、町内に点在する貴重な資料との有機的連携や、SNSを利用した情報発信を推進。
- ▼ 大学駅伝部などスポーツ合宿受け入れへの支援・誘致活動への支援。
- ▼ スポーツ振興助成制度継続による全道・全国大会への出場を支援。
- ▼ 「屈斜路湖オーブンウオータースイミング大会」や古希道東地区選手権大会(野球)の開催。

## ⑥ 社会教育施設などの充実

- ▼ 施設を活用したあらゆる年代の方々に学習や研修、スポーツや趣味など、生涯学習に関わる機会を提供。
- ▼ 中心市街地再構築事業や屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業による施設の機能強化・拡充と、



屈斜路コタンアイヌ民族資料館など、施設の機能強化と拡充を推進



郷土を誇りに思い、町民が主体的に学習活動ができる環境整備を

生涯学習の推進。  
パークゴルフ場施設・設備の改修と更新。  
▼ 日常点検の励行による社会教育・体育施設の適切な維持管理。  
長期化するコロナ禍や年々進行する少子高齢化・人口減少問題など、様々な課題が山積し、将来に希望を見出しづらい状況ではありますが、たとえどのような状況にあっても、町民みんなで子どもたちを育て、高齢者を見守り、健康でいきいきと夢や希望を持って、充実した生活が送れるよう取り組んでいきます。